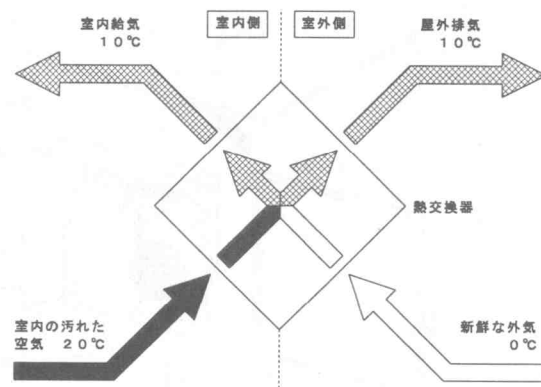


■熱交換器について

熱交換器は、和紙（特殊加工紙）でできた仕切板と間隔板を交互に組み合わせ積み上げられています。熱交換器内に室内の汚れた空気と新鮮な外気を、混ざり合うことなく交差させ、和紙の持つ熱通過性および透湿性の各性質を利用し、温度と湿度、つまり全熱の交換を行います。

『サイクロン空調換気扇』では、熱交換型の換気を行いますので、外気を室温に近づけて給気し、住宅内温度差の緩和や省エネに貢献します。

○冬場を想定した熱交換のようす



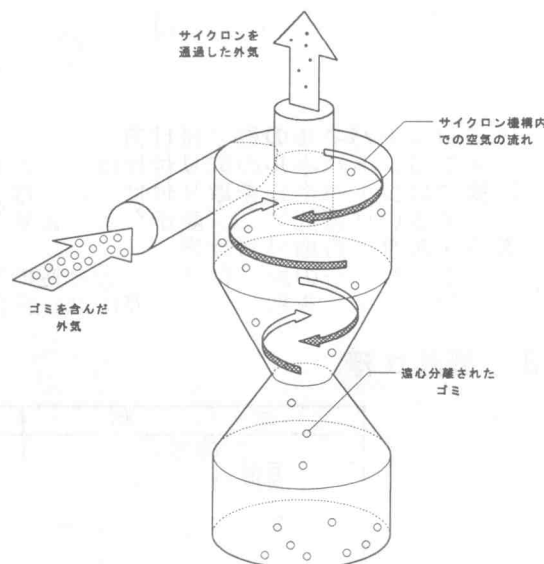
■サイクロンについて

サイクロンは、円筒内に空気を吹き出し、旋回気流をつくり出すことにより、空気中の虫やゴミ（固体粒子）に遠心力を与え、空気と分離させる機構です。

『サイクロン空調換気扇』では、遠心分離した虫やゴミは自動的に屋外に排出される構造となっており、ユーザー様による保守・点検の必要はありません。また、フィルターに付着するゴミの量も抑えられますので、お手入れが簡単になります。

※注意事項1) フィルターの清掃は、性能低下を防ぐために定期的（目安：2ヶ月に1度以上）に清掃して下さい。（清掃サイクルは地域・場所により異なります。）
2) ゴミの大きさによっては、サイクロン機構やフィルターでは捕集しきれないものがあります。（花粉、微粒子、タバコの煙、すす等。）

○サイクロンイメージ図



■長期使用時の注意喚起表示について

【ご注意】この表示は平成21年4月1日施行の法改正によるもので、平成21年4月以前に生産された製品には、この表示は有りません。



『電気用品の技術上の基準を定める省令』における技術基準の項目（長期使用時の注意喚起表示）に従い、本製品の機種銘板の直ぐ近くに銘板を貼り付けています。メンテナンス時に使用するフロントパネルをはずして、銘板の表示をご確認ください。

【銘板表示内容】
・【製造年】
・【設計上の標準使用期間】
・【注意喚起内容】



『設計上の標準使用期間 15年』とは、「標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間」として、設計上設定するものです。

製品の保証期間を過ぎても、「経年劣化やメンテナンス不足による風量低下・異常騒音等が起こらない事を保証する期間」ではありませんのでご注意ください。



『設計上の標準使用期間』を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。また、標準的な使用条件を外れて使用された場合、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。

【標準的な使用条件】 (社) 日本電機工業会自主基準HD-116-4による		
環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50Hz 又は 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
	設置	標準設置
負荷条件		定格負荷
想定時間	1年の使用時間	8,760時間/年(24時間連続換気)

Topre 東プレ株式会社

本 社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 空調機器部営業部 住宅設備機器担当
TEL: (03) 3271-0719

※本説明書の内容は、機器の改善や改良により予告なしに変更する場合があります。

サイクロン空調換気扇 取扱説明書（お客様用）

この度は、『サイクロン空調換気扇』をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しい取り扱いを行って下さい。誤った取り扱いをしますと機器の破損や、性能低下など十分な効果が得られないことがありますのでご注意下さい。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。

この説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使い下さい。

－ 安全に関する注意事項 －

・このマニュアルに使用されている表示や禁止マークの意味

○説明を無視した使用方法によって生じる危険や損害の内容を下記の表示で区分しています。



：警告 死亡や重大な事故の発生が想定される内容



：注意 けがや物的損害の発生が想定される内容

○説明の要点を一目で理解できるよう絵表示を挿入しています。



：必ず実行していただきたい『強制事項』の内容



：避けていただきたい『禁止事項』の内容

1. 安全に関する注意事項



：警 告



・『サイクロン空調換気扇』は、一般住宅の居室を対象とした換気システムで、通常の生活に合わせた換気量の設定になっています。極端に居住者が多い場合や、多量の臭気などの発生があった場合は、窓を開けるなど他の換気を併用して下さい。



・外気取り入れ口は、汚れた外気（キッチン・トイレ・浴室などの排気や、燃焼ガスなど）を吸い込む場所(位置)に設置しないで下さい。また、汚れた空気（殺虫剤、農薬など）を吸わせないで下さい。



・『サイクロン空調換気扇』は燃焼器具の換気用ではありませんので、開放型（室内排気型）ストーブや、コンロなどの燃焼器具をご使用になる場合には、窓を開けるなど他の換気を併用して下さい。



・『サイクロン空調換気扇』は、絶対に改造しないで下さい。感電や火災の発生、異常動作による怪我の原因となります。



：注 意



・お手入れは、必ず本体の電源を切ってから行って下さい。



指・髪の毛・衣服などが送風機に巻き込まれ、怪我などを原因となります。



・お手入れの際は、必ず安定した台の上で作業を行って下さい。また、台の高さも作業のし易いものを使用して下さい。



作業中の台からの転倒・落下による怪我や、物品の破損の原因となります。



・お手入れの際は、保護具（軍手など）を着用して下さい。

怪我をする原因となります。

・濡れた手で【壁スイッチ】に触れないで下さい。

機器の破損や感電による怪我などの原因となります。

Topre 東プレ株式会社

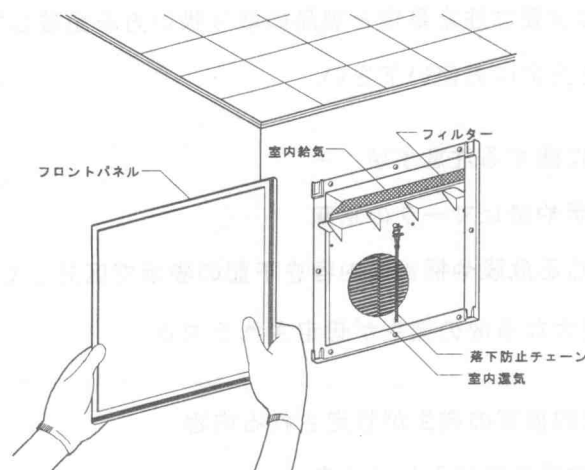
— お願い —

- ・フィルターは、『サイクロン空調換気扇』の性能低下を防ぐために、2ヶ月に1度以上(目安)の定期清掃をして下さい。
- ・フィルター清掃の際、水洗いをした場合はよく乾かしてからご使用下さい。
- ・機器内に水分が入り、故障する恐れがあります。
- ・フィルターを水洗いした後に乾かす際、火にあぶることは絶対におやめ下さい。
- ・変形や引火による怪我・火災の原因となります。
- ・フィルターを熱湯で洗うことは絶対におやめ下さい。
- ・変形します。

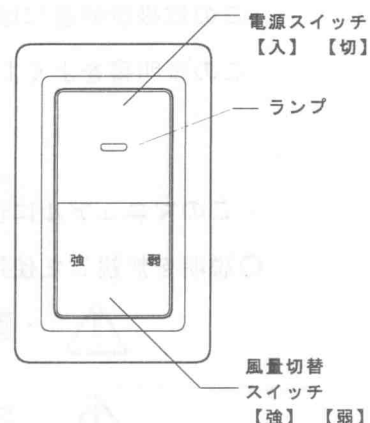
2. 製品概要

1) 製品各部の名称

●機器本体



●壁スイッチ



2) 運転の方法

- ・換気扇用の壁スイッチは、上部が電源、下部が風量切替スイッチになっています。
- ※壁スイッチの仕様が本図と違う場合は、別途、壁スイッチの取扱説明書等でご確認下さい。

①運転の方法

- ・電源スイッチは押しボタン式になっており、ボタンを押すことで【入】【切】が順番に切り替わるようになっています。
- ・【切】の状態のとき中央のランプが点灯します。

②風量の切り替え

- ・風量切替スイッチは、ボタンの左側を押すと【強】運転、右側を押すと【弱】運転となります。
- ・通常使用するのは【強】運転です。必要時以外は【強】運転にして下さい。
- ・換気扇の運転音が気になる場合には【弱】運転にして下さい。【弱】の場合、換気量は減少します。

3) メンテナンス方法

- お願い：フィルターは、『サイクロン空調換気扇』の性能低下を防ぐために、2ヶ月に1度以上(目安)の定期清掃をして下さい。
- ※お住まいの地域、設置場所により、汚れの度合いは変わりますので定期的に確認して下さい。

・フィルターの清掃方法

①フロントパネルのはずし方

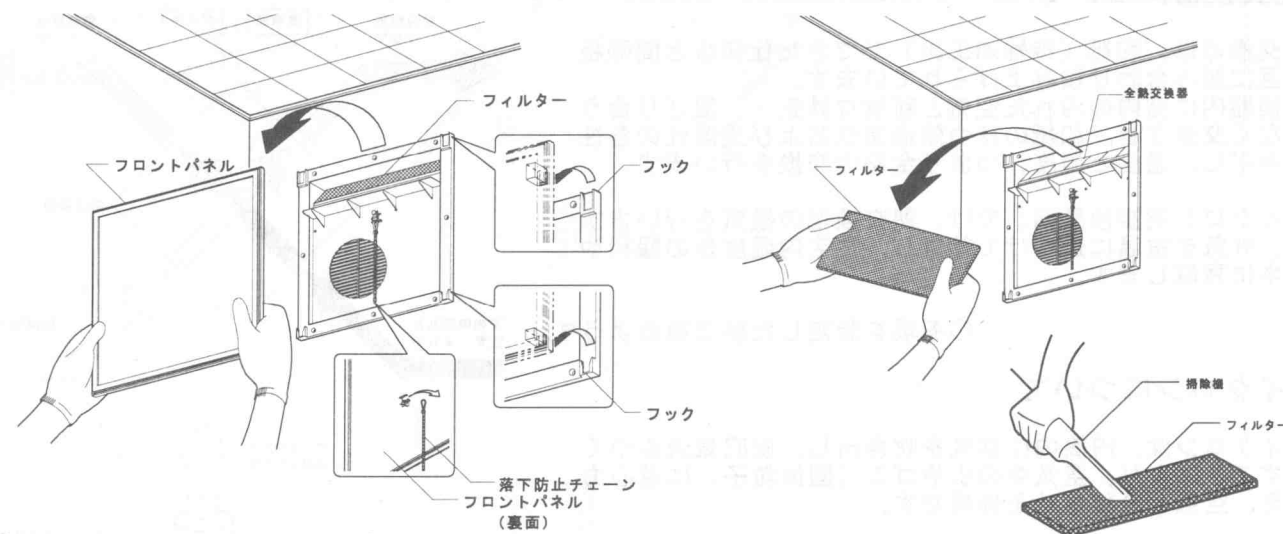
- ・図のように、一度上にあげてフックからはずし手前に引いて下さい。
- ※フロントパネルと機器本体は落下防止チェーンでつながっています。チェーンをはずさずに作業は可能ですが、作業が難しい場合には、フロントパネル側のチェーンを金具からはずして下さい。また、はずしたフロントパネルは、破損させないよう保管しておいて下さい。

②フィルターのはずし方

- ・フィルターは、マジックテープで固定されています。フィルターに付いているゴミを落とさないように、静かに取り外して下さい。

③フィルターの清掃方法

- ・フィルターの清掃は軽くたたか、または掃除機で埃を吸い取って下さい。
- ・汚れがひどい場合には、水または中性洗剤を入れたぬるま湯でかるくもみ洗いして下さい。
- ・清掃後は、よく自然乾燥させてからご使用下さい。
- ※長期間使用し、汚れが落ちなくなった場合や変形してきた場合には、新品への交換をお勧めいたします。



④フロントパネルの取り付け方

- ・フロントパネルの取り付けは、①と逆の手順で行って下さい。
- ※フロントパネルを取り付ける際には、取り付け方向に注意し、落下防止チェーンを忘れずに取り付けて下さい(裏面に“上”表示が有ります)。

⑤フィルターの取り付け方

- ・フィルターの取り付けは、②と逆の手順で行って下さい。
- ・フィルターを取り付ける際には、全熱交換器全面が確実に隠れるように取り付けて下さい。

3. 製品仕様

名 称		サイクロン空調換気扇			
定格電圧		AC100V			
周波数(Hz)		50		60	
ノッチ		強	弱	強	弱
風量(m³/時)	給気	45	30	45	30
	排気	30	15	30	15
消費電力(W)		10	8	12	10
騒音値(dB(A))		33	28	33	28
温度交換効率(%)		50	53	50	53
フィルター捕集効率		約70%(粒子径20μmに対し)			
使用環境	周囲温度	0~40℃			
	相対湿度	30~90%(無結露を条件とする)			
	その他	腐食性・可燃性のガスが無いこと			
製品重量(kgf)		4.5			

- 1) フィルターは花粉除去を目的としたもので、対象をスギ花粉(粒子径:約20μm)としています。対象粒子径が小さくなると、捕集効率は低下します。
- 2) 風量は機外静圧0Pa時の測定値です。
- 3) 消費電力、騒音値、温度交換率は製品単体での測定値です。
- 4) 上記の性能は本体設置位置等の諸条件により変化します。
- 5) 騒音値は、本体より1.5mの位置にマイクを設置し、無音室で測定したものです。設置場所によっては、反響等の影響を受け上記騒音値が変化します。

4. 点検

- ・ご使用中や、メンテナンス終了後に『故障かな?』と感じた場合にお読み下さい。
- 修理をご依頼される前に次の点をお調べ下さい。

症 状	原 因	確認項目
●換気ユニットが動かない	①電源が入っていない。	①壁スイッチが【入】の状態になっているかを確認して下さい。
●風が出ない	②フィルターが目詰りしている。 ③ブレードが落ちている。	②フィルターを清掃して下さい。 ③ブレードが落ちていないか確認して下さい。
●風の出が悪い	①フィルターが目詰りしている。	①フィルターを清掃して下さい。
●変な音をする	①フロントパネルが確実に取り付けられていない。 ②フィルターが目詰りしている。	①取り付け状態を確認して下さい。 ②フィルターを清掃して下さい。

- ※ 上記の点検を行っても症状が改善されないとき、または、上記以外の症状が出ている場合は、運転を停止し、お買い上げの販売店、工事店、または下記の連絡先までお問い合わせ下さい。